2008年度環境報告データ集

- 環境マネジメントシステム（ISO14001認証取得状況）
- 環境監査（08年度の外部監査結果）
- 環境負荷の全体像（日野自動車の事業活動と環境影響）
- 環境教育（環境教育プログラムの受講者数08年度）
- 環境会計（環境保全コスト■環境コスト）
- 環境会計（（1）環境保全効果／（2）物流効果）
- 2008年度の主な環境パフォーマンス
  （CO_2総排出量・原単位の推移／排出物量の推移／梱包資材総使用量の推移
  PRTR法対象物質の排出量の推移／ VOC排出量の推移（羽村工場）／
  トリクロロエチレン実測値
- 各事業所の環境活動と環境関連法データ
  □本社・日野工場／□羽村工場／□新田工場
  □アメリカ／□タイ／□インドネシア／□パキスタン／□中国（上海）
- グループ会社におけるISO・EMD取得状況
- 2008年度の日野グループ生産拠点における主要環境データ

■ISO14001認証取得状況

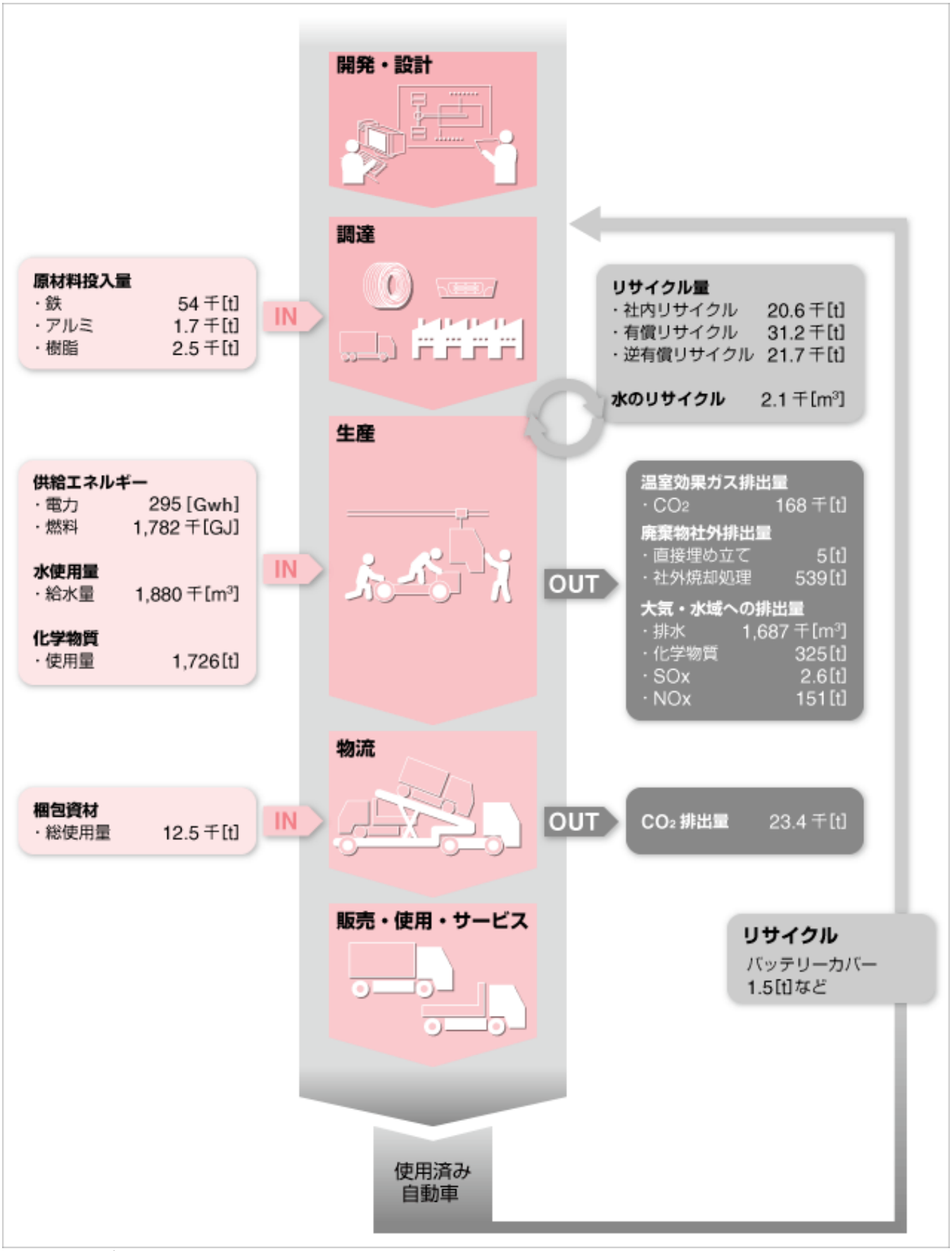
対象組織	機能名	認証取得日
本社・日野工場	生産機能、製品開発機能、生産技術機能、本社機能 海外事業機能※	2001年3月24日 ※2006年5月19日　田町事務所から本社へ移転
羽村工場	生産機能	1999年3月10日
新田工場	生産機能	2000年3月27日
青梅部品センター	部品物流機能	2002年1月11日
日高配車センター	車両物流機能	2002年1月11日
田町事務所	国内事業機能	2003年4月25日

■2008年度の外部審査結果

（単位：件）

事業所名	審査形態	緊急不適合	不適合	観察事項
本社・日野工場	サーベイランス	0	0	3
羽村工場	サーベイランス	0	0	3
新田工場	更新審査	0	1	3
青梅・日高・大阪	サーベイランス	0	0	3
田町	更新審査	0	0	4

■環境負荷の全体像（日野自動車の事業活動と環境影響）



■環境教育プログラムの受講者（2008年度）

（単位：人）

プログラム名	受講者数
新入社員導入研修	470
管理職研修	127
新任グループ長研修	57

■環境会計（環境コスト）

（単位：百万円）

環境保全コスト			08年度実績		07年度実績		前年比増減	
分類		主な取り組みの内容	投資額	費 用	投資額	費 用	投資額	費 用
(1)事業エリア内コスト			137	707	33	740	104	-32
	①公害防止コスト	大気汚染、水質汚濁などの公害防止のためのコスト	106	374	25	381	81	-8
	②地球環境保全コスト	省エネルギー設備などの地球環境保全コスト	31	7	7	5	24	2
	③資源循環コスト	リサイクル、廃棄物の処理などの資源循環コスト	0	326	1	354	-1	-28
(2)上・下流コスト		環境負荷を減らすための追加的コスト	0	112	0	131	0	-19
(3)管理活動コスト		環境負荷の監視・測定のためのコスト	0	418	0	404	0	14
(4)研究開発コスト		環境負荷抑制のための研究開発費	0	22,221	0	23,858	0	-1,637
(5)社会活動コスト			0	4	0	5	0	-1
(6)環境損傷対応コスト			0	0	0	0	0	0
合計			137	23,463	33	25,138	104	-1,675

■環境会計（（1）環境保全効果　（2）物流効果）

（1）経済効果

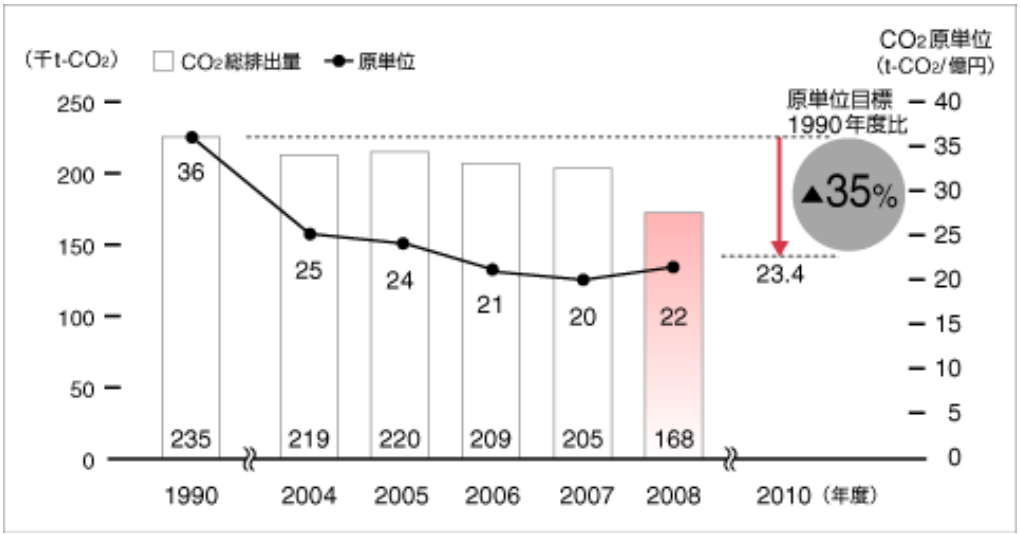
（単位：百万円）

	効果の内容	08年度	07年度
収　益	リサイクルによる事業収入	1,338	1,440
費用節減	省エネルギーによるエネルギー費の節減	1	6
	省資源またはリサイクル活動による廃棄物処理費の節減	0	2
合　　計		1,339	1,448

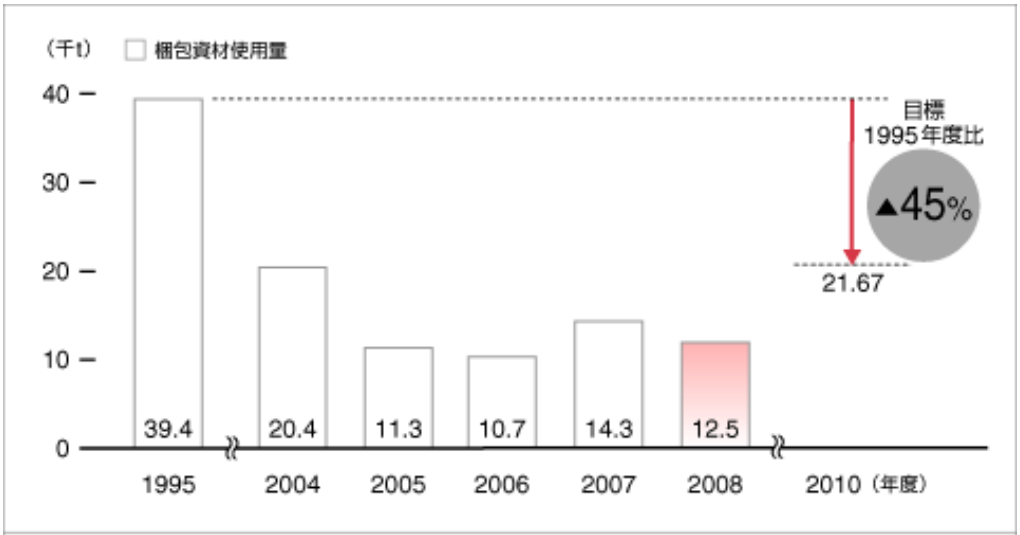
（2）物流効果

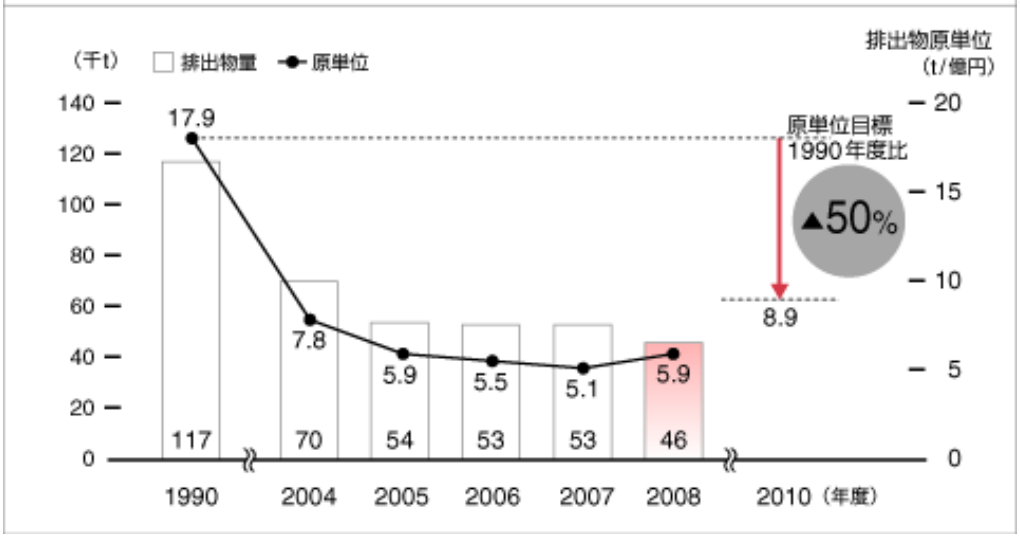
項目	08年度	07年度
CO_2低減［t-CO_2］	26	211
廃棄物低減［t］	-	95

■CO_2総排出量・原単位の推移



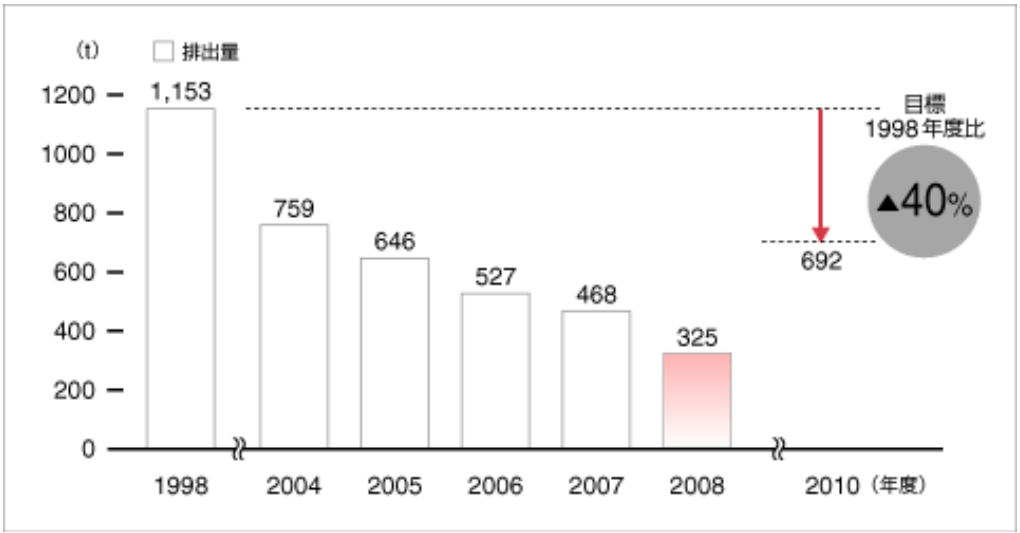
■排出物量の推移



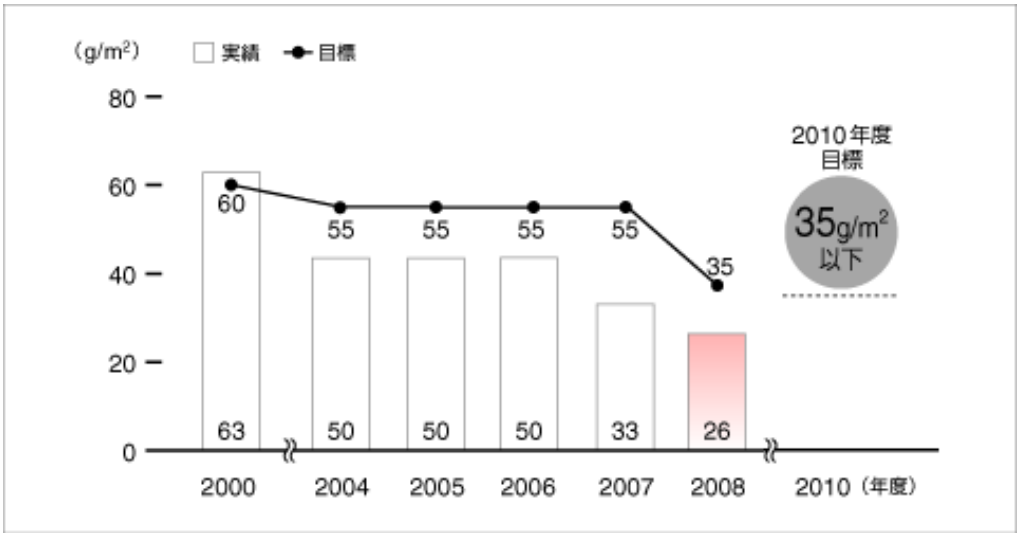


■梱包資材総使用量の推移

■PRTR法対象物質の排出量の推移



■VOC排出量の推移（羽村工場）



■トリクロロエチレン実測値
（単位：mg/l、環境基準値：0.03mg/l）

（飲料井戸）

事業所名	2008年度測定値
本社・日野工場	ND～0.055※
羽村工場	ND～0.143※
新田工場	0.0005未満～0.001

※浄化対策を継続して実施中

■各事業所の環境活動と環境関連法データ

本社・日野工場

ISO14000認証取得
2001年3月24日

本社・日野工場
環境管理統括者
藤井 恒彦

工場概要

所在地	東京都日野市日野台3丁目1番地1
主要製品	大型トラック「日野プロフィア」 中型トラック「日野レンジャー」
正社員数	5,500人
敷地面積	447,081 m²
延床面積	405,097 m²

環境方針

1. 社会、環境との共生
2. 継続的改善と環境汚染の未然防止
3. 法規等の順守
4. もったいないは全ての基本
5. 一人ひとりの気持ちから

「よい車をつくり、人や地球に優しい輸送をサポートする工場」を目指します。

本社・日野工場では生産および物流過程においても環境負荷を最小化するため環境への取り組みに関する目標を定め、目標達成に向けて積極的に活動しております。

また、トップレベルの環境性能を有する製品を社会に提供し続けることは私たちの社会的責任と考えており、そのため開発・調達・生産準備・生産・事務管理の全ての機能で、環境への影響を認識し、環境との共生を進めています。

さらに、省エネ・省資源活動では、ふだんから「もったいない」を心がけ、ムダ・ムラ・ムリをなくしていくように、社員一人ひとりが認識し活動するとともに、自然環境保護の活動にも取り組んで参ります。

一方、日野工場は住宅地に隣接していることから、騒音や振動、臭気といった感覚公害で、地域の皆様へご迷惑をおかけすることがないように対策を徹底しています。

私たちは、今後も「よい車をつくり、人や地球に優しい輸送をサポートする工場」を目指していきます。

■受賞実績

2003年度　電気安全関東委員会委員長表彰最優秀賞
2005年度　関東地区電気使用合理化委員会最優秀賞受賞
2006年度　関東地区電気使用合理化委員会最優秀賞受賞
2007年度　電気安全・使用合理化表彰最優秀賞
2008年度　電気安全・使用合理化表彰最優秀賞
2008年度　関東地区電気使用合理化委員会最優秀賞受賞
2008年度　高圧ガス保安協会会長賞受賞

■環境関連法データ

水質（水質汚濁防止法、都条例）
放流水水質分析（河川放流・・・・・・放流先：谷地川経由多摩川）

項目	規制値	最大	最小	平均
排出量（m^3/日）	-	5,982	1,228	2,615
pH	5.8～8.6	7.4	6.9	7.1
BOD（mg/l）	20	2.6	0.8	1.3
COD（mg/l）	-	13	4.5	8
SS（mg/l）	40	9	1	2.7
N-ヘキサン（mg/l）	5	ND	ND	ND
全リン（mg/l）	2	0.9	0.1	0.5
全窒素（mg/l）	20	14	2.5	8.7
亜鉛含有率（mg/l）	2	0.1	0.03	0.06
フッ素化合物（mg/l）	8	0.3	0.1	0.2

ND：定量下限値以下（検出されない）

■大気（大気汚染防止法、都条例）

施設名	測定項目	規制値	最大	最小	平均
ボイラー（都市ガス）	NOx［ppm］	-	47	27	36
	ばいじん［g/Nm^3］	-	0.002	ND	0.001
浸炭炉1号（都市ガス）	NOx［ppm］	180	127	80	98
	ばいじん［g/Nm^3］	0.2	0.02	ND	0.01

ND：定量下限値以下（検出されない）

■化学物質（PRTR法）

（単位：t/年）

政令番号	第1種指定化学物質	取扱量	排出量		移動量		リサイクル量	除去処理量	消費量
			大気	水質	廃棄物	公共下水道			

1	亜鉛の水溶性化合物	2.9	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	2.0
30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂（液状のものに限る）	2.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	1.8
40	エチルベンゼン	16.9	10.1	0.0	0.0	0.0	2.6	2.3	1.8
43	エチレングリコール	391.9	0.0	0.0	8.1	0.0	0.0	0.0	383.8
63	キシレン	47.1	26.7	0.0	0.0	0.0	6.1	6.1	8.2
177	スチレン	11.7	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.8
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	5.6	2.3	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0
227	トルエン	29.5	10.1	0.0	0.0	0.0	0.0	6.4	12.9
299	ベンゼン	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
311	マンガン及びその化合物	1.8	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	1.4
	合計	510.2	50.0	0.0	9.5	0.0	12.0	14.9	423.7

- 取扱量が1t以上が対象（特定第1種指定化学物質は500kg以上）
- 除去処理量：焼却処理・分解処理などにより除去した量
- 消費量：反応により他物質に変化したり、製品に含有もしくは付随して場外へ持ち出される量

羽村工場

ISO14000認証取得
1999年3月10日

羽村工場
環境管理統括者
田中 一春

工場概要

所在地	東京都羽村市緑ヶ丘3丁目1番地1
主要製品	小型トラック「日野デュトロ」「ダイナ」「トヨエース」「ハイラックスサーフ」「FJクルーザー」「ルートバン」「ランドクルーザープラド」
正社員数	3,000人
敷地面積	750,770 m^2
延床面積	384,027 m^2

環境方針

1. 自然環境と調和した事業活動の推進
2. 限り有る資源の有効活用
3. 地域社会とのパートナーシップの構築

私たちは「環境にやさしい工場」を目指します

羽村工場では「自然環境と調和した事業活動の推進」を環境方針に掲げ、「環境にやさしい工場」を目指して継続的な環境改善に取り組んでいます。

環境に関する法規制を守るだけでなく、自主的な環境保全計画を作成し、目標達成に向けて工場全体で改善活動に取り組んでいます。また、限りある資源を有効活用するために省エネや省資源活動を積極的におこない、安全や品質の改善により、清々とした仕事の流れを確保し、工場全体として環境負荷を低減しています。これからも地域の皆様との交流を積極的におこない、地域社会とのパートナーシップの構築に努めます。

■受賞実績

2004年10月　高圧ガス保安協会会長賞受賞
2005年2月　資源エネルギー庁長官賞受賞

2005年11月　東京消防庁予防部長賞受賞
2006年2月　関東地区電気使用合理化委員会最優秀賞受賞
2006年7月　消防訓練審査会優勝受賞
2007年2月　関東地区電気使用合理化委員会最優秀賞受賞
2008年2月　関東地区電気使用合理化委員会最優秀賞受賞
2008年2月　省エネルギーセンター会長賞受賞
2009年2月　エネルギー管理優良工場経済産業大臣賞受賞

■環境関連法データ

水質（下水道法）　放流水水質分析（下水道放流）

項目	規制値	最大	最小	平均
排出量（m^3/日）	-	4,382	9	1,605
pH	5.7～8.7	7.3	6.7	7
BOD（mg/l）	300	10	1.5	3.8
SS（mg/l）	300	12	1	4
N-ヘキサン（mg/l）	5	ND	ND	ND
全リン（mg/l）	16	11	0.2	1.8
全窒素（mg/l）	120	18	2.3	5.9
亜鉛含有率（mg/l）	2	0.3	0.2	0.3
フッ素化合物（mg/l）	8	0.7	0.4	0.5

ND：定量下限値以下（検出されない）

■大気（大気汚染防止法、都条例）

施設名	測定項目	規制値	最大	最小	平均
コージェネ（都市ガス）	NOx［ppm］	35	26	15	20.2
	ばいじん［g/Nm^3］	0.05	ND	ND	ND
乾燥炉（都市ガス）	NOx［ppm］	250	40	5	10
	ばいじん［g/Nm^3］	0.2	0.01	ND	0.003

ND：定量下限値以下（検出されない）

■化学物質（PRTR法）

（単位：t/年）

政令番号	第1種指定化学物質	取扱量	排出量		移動量		リサイクル量	除去処理量	消費量
			大気	水質	廃棄物	公共下水道			
1	亜鉛の水溶性化合物	5.8	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	4.1
16	2-アミノエタノール	1.4	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	1.2	0.1
30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂（液状のものに限る）	5.6	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	4.8
40	エチルベンゼン	56.3	39.0	0.0	0.7	0.0	3.2	1.3	12.1
43	エチレングリコール	571.8	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	571.2
44	エチレングリコールモノエチルエーテル	7.9	7.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
63	キシレン	147.8	79.1	0.0	1.3	0.0	7.4	4.5	55.5

101	酢酸2-エトキシエチル	9.9	9.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	9.6	4.3	0.0	0.9	0.0	4.0	0.4	0.0
227	トルエン	157.1	68.5	0.0	0.3	0.0	0.0	1.7	86.6
232	ニッケル化合物	1.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.4
299	ベンゼン	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5
311	マンガン及びその化合物	9.6	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	9.0
	合計	990.1	208.6	0.0	7.5	0.1	14.6	9.1	750.2

- 取扱量が1t以上が対象（特定第1種指定化学物質は500kg以上）
- 除去処理量：焼却処理・分解処理などにより除去した量
- 消費量：反応により他物質に変化したり、製品に含有もしくは付随して場外へ持ち出される量

新田工場

ISO14000認証取得
2000年3月27日

新田工場
環境管理統括者
吉川 昭彦

工場概要

所在地	群馬県太田市新田早川町10番地1
主要製品	中型および小型トラック用エンジン 大型および中型トラック用トランスミッション　中型トラック用アクスル
正社員数	1,400人
敷地面積	393,932 m^2
延床面積	182,063 m^2

環境方針

1. 地域との融和、環境との共生
2. 未然防止を基本に
3. 法規等の順守
4. ムダを出さない、ムダに使わない
5. 一人ひとりの気持ちから

「人と環境にやさしい、綺麗な工場」を目指します

緑豊かな新田工場は、「新田工場環境方針」のもと、工場のすべての活動の基本に3S（整理、整頓、清掃）を置き、常に環境への影響を考えながら、環境保全および改善活動を推進しています。

特に、生産活動のより上流で環境影響の元を絶つ取り組みを充実させ、環境リスク発生の未然防止に努めています。また順法の監視・維持はもとより、さらなる環境負荷低減への取り組みとして、地球温暖化防止のためより高い目標に全員でチャレンジしてまいります。地域との融和では、永年培ってきた信頼関係をさらに強固なものとして定着させ、苦情のない「人と環境にやさしい、綺麗な工場」をつくり上げていきます。

■受賞実績

2002年度　資源エネルギー庁長官賞（電気部門）受賞
2003年度　経済産業局省エネ活動優秀グループ賞受賞
2004年度　資源エネルギー庁長官賞（熱部門）受賞

■環境関連法データ

水質（水質汚濁防止法、県条例、地元自治体との環境汚染防止協定）
放流水水質分析（河川放流‥‥‥放流先：早川経由利根川）

項目	規制値	最大	最小	平均
排出量（m^3/日）	-	736	0.9	406
pH	6.0～8.0	7.9	7.3	7.5
BOD（mg/l）	10	1	ND	ND
SS（mg/l）	15	ND	ND	ND
N-ヘキサン（mg/l）	3	ND	ND	ND
全リン（mg/l）	60	0.1	ND	ND
全窒素（mg/l）	120	10	4	8
亜鉛含有率（mg/l）	1	0.06	0.02	0.04
フッ素化合物（mg/l）	1.5	ND	ND	ND

ND：定量下限値以下（検出されない）

■大気（大気汚染防止法、県条例、地元自治体との環境汚染防止協定）

施設名	測定項目	規制値	最大	最小	平均
連続炉1号（灯油）	NOx［ppm］	180	110	60	88
	ばいじん［g/Nm^3］	0.1	0.03	ND	0.01

■化学物質（PRTR法）

（単位：t/年）

政令番号	第1種指定化学物質	取扱量	排出量		移動量		リサイクル量	除去処理量	消費量
			大気	水質	廃棄物	公共下水道			
1	亜鉛の水溶性化合物	1.1	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.8
25	アンチモン及びその化合物	7.6	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	7.4
40	エチルベンゼン	12.4	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
43	エチレングリコール	38.7	0.0	0.0	19.4	0.0	0.0	0.0	19.4
63	キシレン	23.5	17.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.2
68	クロム及び3価クロム化合物	46.8	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	45.9
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	6.8	6.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
227	トルエン	35.2	30.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5
232	ニッケル化合物	1.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.9
266	フェノール	10.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.2	0.0
311	マンガン及びその化合物	25.4	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	24.6
346	モリブデン及びその化合物	16.9	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	16.8
	合計	225.7	66.5	0.0	21.8	0.0	0.0	10.2	127.2

- 取扱量が1t以上が対象（特定第1種指定化学物質は500kg以上）
- 除去処理量：焼却処理・分解処理などにより除去した量
- 消費量：反応により他物質に変化したり、製品に含有もしくは付随して場外へ持ち出される量

アメリカ

工場概要

会社名	米国日野製造（HINO MOTORS MANUFACTURING U.S.A., INC.）
本社所在地	37777 INTERCHANGE DRIVE, FARMINGTON HILLS, MI 48335
主要製品	日野車製造、補給部品販売、自動車用部品製造販売　他

環境方針

1. 環境への悪影響軽減に貢献します。
2. 公害防止とリサイクル活動に、より一層努力します。
3. 決められた規則に従い、絶対に逸脱しません。
4. 常に改善し続けます。

■環境関連データ

CO_2排出量	2,065 t-CO_2
焼却廃棄物	157 t
直埋廃棄物	51 t
水使用量	5 千m^3

タイ

工場概要

会社名	タイ日野製造（HINO MOTORS MANUFACTURING (THAILAND) LTD.）
本社所在地	NO.99 MOO 3, THEPHARAK ROAD, SAMRONG NUA, MUANG SAMUTPRAKARN, SAMUTPRAKARN PROVINCE, THAILAND
主要製品	日野製トラック・バスの製造販売、自動車用部品製造販売

環境方針

1. 地球環境との調和
2. 環境汚染防止体制の強化とその運営
3. 法律と他環境方針の遵守
4. エネルギーと天然資源の保護
5. 廃棄物処理
6. 社員の意識付け
7. 環境方針公開

■環境関連データ

CO_2排出量	21,271 t-CO_2
焼却廃棄物	0 t
直埋廃棄物	1,529 t
水使用量	300 千m^3

インドネシア

工場概要

会社名	インドネシア日野製造（PT. HINO MOTORS MANUFACTURING INDONESIA.）
本社所在地	KAWASAN INDUSTRI KOTA BUKIT INDAH BLOK D1 NO.1 PURWAKARTA 41181, JAWA BARAT, INDONESIA
主要製品	日野製トラック・バスの製造販売

環境方針

1. 環境との融和、環境との共生
2. 予防を基本に
3. 法則等を遵守する
4. ムダを出さない、ムダに使わない
5. 一人ひとりの自覚

■環境関連データ

CO_2排出量	1,800 t-CO_2
焼却廃棄物	39 t
直埋廃棄物	0 t
水使用量	28 千m^3

パキスタン

工場概要

会社名	日野パック（HINOPAK MOTORS LIMITED.）
本社所在地	D-2, S.I.T.E. MANGHOPIR ROAD KARACHI-75700, PAKISTAN
主要製品	日野製トラック・バス製造販売、ボデー架装及び販売、補給部品の輸入販売

環境方針

1. 汚染防止と環境負荷低減の促進
2. エネルギー他、資源の有効利用
3. 環境法規の順守
4. 環境パフォーマンスの継続的改善
5. 従業員等への教育・訓練・啓発

■環境関連データ

CO_2排出量	2,859 t-CO_2
焼却廃棄物	51 t
直埋廃棄物	0 t
水使用量	89 千m^3

日野パックは、「環境・社会報告書2007-2008」で第三者機関により表彰(＊1)を受けました。これは内容の充実度・信頼性等の観点から、社会とのコミュニケーションツールとして高く評価されたものです。

＊1: ACCA(＊2)-WWF(＊3) Pakistan Environmental Reporting Awards 2008
＊2: ACCA・・・the Association of Chartered Certified Accountants（英国勅許会計士協会）

＊3: WWF・・・World Wide Fund for Nature（世界自然保護基金）

中国（上海）

工場概要

会社名	上海日野（上海日野発動機有限公司）
本社所在地	中華人民共和国　上海市奉賢区　環城東路179号
主要製品	日野ブランドエンジンの製造・販売

環境方針

1. 国家の法律、法規と規定を守る。
2. 環境保護は自分自身から始まる。
3. 資源とエネルギーの有効利用を強め、無駄を防止する。
4. 社員の環境保護意識を強める。
5. 持続改善

■環境関連データ

CO_2排出量	1,269 t-CO_2
焼却廃棄物	92 t
直埋廃棄物	0 t
水使用量	23 千m^3

■グループ会社におけるISO・EMD取得状況

日野グループの取得状況

対象会社		2008年度実績		
		対象会社数	ISO登録社数	EMD全拠点認定販社数
国内	関連会社	23	21	-
	仕入先（トヨタ自動車の仕入先を除く）	556	327	-
	販売会社	42	5	30
海外	関連会社	8	5	-

■2008年度の日野グループ生産拠点における主要環境データ

CO_2排出量

（単位：千t-CO_2）

	2006年度	2007年度	2008年度
日野自動車	209	205	168
国内生産系関連会社	110	125	100
海外生産系関連会社	31	34	30

焼却廃棄物量

（単位：t）

	2006年度	2007年度	2008年度
日野自動車	1,672	604	538
国内生産系関連会社	2,090	2,639	2,138
海外生産系関連会社	340	391	348

直接埋立て廃棄物量

（単位：t）

	2006年度	2007年度	2008年度
日野自動車	20	0	5
国内生産系関連会社	7,188	4,534	3,822
海外生産系関連会社	1,655	1,755	1,583

水使用量

（単位：千m^3）

	2006年度	2007年度	2008年度
日野自動車	2,032	2,164	1,880
国内生産系関連会社	1,654	1,616	1,368
海外生産系関連会社	408	468	448